

# 本書の活用方法

## ① “実習の1日”をまずは把握しましょう！

まずは「臨地実習の1日の流れ」、みなさんが実習施設で1日何をするのかという「行動の流れ」を示します。

看護学生であるみなさんが、具体的に「やらなければならないこと」を時間軸に沿って把握していきましょう。

実習の1日(行動の流れ)を確認しよう！

### 1 実習の1日(行動の流れ)

両棟でナースステーションに入り、朝の挨拶から1日が始まります。

本当はその前に、学校やクラス単位での検温、実習計画の確認、提出物の回収などがあるはずですが、ナースステーション前の提出物などについては、あとのコラムでおなじみですね。

**実習初日：ナースステーションで最初にすること**

#### ① 出勤者ボードをチェック

出勤者	氏名	出勤
08:00		
08:15		
08:30		
08:45		
09:00		
09:15		
09:30		
09:45		
10:00		

初日のうちに名前をチェックしておく、2日自以降に「誰に報告・質問すればよいのか」がわかり、慌てる時間がグッと減ります。

実習担当者(実習指導者)さんのお名前を確認して、メモしておきましょう。

#### ② 申し送り(引継ぎ)で情報収集

申し送りでは限られた時間内で、重要な内容から引継ぎを行っています。

- 担当患者さんの情報を聞き逃さないように注意しましょう。
- 患者さんの容態に変化があった場合は、予定していたケアの中止や変更、修正を検討する必要があります。
- ほかにも予定の中止や変更、修正の原因には、各種検査やリハビリの予定、家族のお見舞いも含まれます。
- 検査やリハビリについては担当者ボードに書いてあることもあるため、忘れずに確認しておきましょう。

病棟や日によっては患者さん全員の名前が出てこないこともあります。

**聞き逃さない重要なポイント**

- 患者さんの状態
- 患者さんの希望
- 検査やリハビリの予定
- お見舞いの予定 など

**みんなきどうする？**

初日でまだ担当患者さんがまだわからないとき

初日でまだ担当患者さんがわからないので、何の情報をとればよいかわからない……。そんなときは「荷」をどんな順番で「伝えていくか？」だけでもメモしてみましょう。情報の伝え方の参考や、情報収集のときのヒントになります。

## ② ①でつかんだそれぞれの「やらなければならないこと」を一つずつ解説していきます。

ここで大事なことは、「実習での学び」はそのまま看護師国家試験にも出題されるということ。

臨地実習では、目の前の「やること」が多すぎて、看護師国家試験のことまで頭がまわらないかもしれませんね。でも、実習が終わってから看護師国試対策をしようと思っても、

すべてのことを覚えていて看護師国試の知識と結び付けるのは、とても大変で難しいことです。それならば臨地実習の場で、実際に自分が実習ですることと看護師国試の知識が同時に学べれば、知識は必ず定着します。

本書では、みなさんが臨地実習でやらなければならないことを解説すると同時に、それが過去の看護師国家試験にどのくらい出題されたか、また看護師国試で問われる根拠などを示しています。

関連する看護師国家試験の過去問題番号を記しています。  
 近年の国試問題は、選択肢を変えた同じような問題の出題が目立ちます。ここに示した過去問題は必ず見直してね！  
 凡例：114A28→(第114回看護師国家試験 午前問題28)  
 ：114P12→(第114回看護師国家試験 午後問題12)

て看護師国家試験に活かそう

## 整備

102A38、106P35、108A20・P20、114P2

整備から。  
 ところの消毒は、おそらくははずです。

102P34、112A35

対象微生物に違いがあります。  
 たがるおはなしです。

微生物にどのくらいの効果がある  
**高水準消毒薬**「中水準消毒薬」**低**

あつても、体温計が「正しいか」を確認してください。  
 腋窩中央のくぼみに体温計のふいど、正しい体温が測れま

**なぜ？**  
 → ほかの場所(腋窩中央部以外)では、身体深部温を正しく反映できず、他の方向から入れたのでは隙間ができてしまい、体の熱が隙間から逃げていってしまいます。

くぼみの中央を  
 めがけ……

ななめ下から  
 はさんで、  
 しっかりと閉じる

● 体温を測り終わった後、体温計をエタノール綿で拭くことも忘れないようにしましょう。

● 検温の目的は、体内部の温度(深部温)を測定するためです。したがって実習では、日常生活で使われるかざすだけの体温計(非接触検温器)は使われません。

→ p.106 コラム⑦「感染予防1：スタンダードプリコーション」参照

**なぜ？**  
 → 非接触検温器は、熱を有するものから発せられる赤外線から推測される「表面温」しか測定できません。しかも途中に空気がはさまるため、正しい体温は測定できません。

臨地実習ではもちろん、看護師国試でも「**根拠**」をきちんと理解できているかが重要です！  
 実践を通して「なぜ？」を理解していきましょう！

### ③内容に関連する必須知識は“コラム”で解説！

「やらなければならないこと」に関連した周辺知識も一緒に学んでしまいましょう！  
 コラムでは、さらに深めて覚えておきたいものを取り上げて解説しています。

#### 3)脳神経支配と目の異常

- 目を観察する際に、あわせて思い出したいのが脳神経の支配です。
- 脳神経は全部で12対あり、それぞれが目や顔面の感覚・運動などを担当しています。
- 目の動きや瞳孔の反応などに異常がある場合、どの神経に問題があるかを考える視点が重要になります。

まずは脳神経の“番号・名前・はたらき”をざっくりでいいので確認しておく、この先の学習がぐっとスムーズになりますよ。



▶ p.382 コラム前脳神経 名前・役目・発出地点の抄写

#### コラム 眼視アセスメントと目視

視覚の発達、あるいは目の異常の有無を確認するために目視検査を行います。目視検査は、視覚の発達を確認するために重要な検査です。

**検査項目**

- 視覚の発達
- 目の異常の有無
- 目の動き
- 瞳孔の反応
- 眼圧

**検査方法**

検査者は、検査対象者の目の動きを確認するために、検査対象者の目の動きを観察します。検査対象者の目の動きを確認するために、検査対象者の目の動きを観察します。

**検査結果**

検査結果は、検査対象者の目の動きを確認するために、検査対象者の目の動きを観察します。検査対象者の目の動きを確認するために、検査対象者の目の動きを観察します。

**検査結果の評価**

検査結果の評価は、検査対象者の目の動きを確認するために、検査対象者の目の動きを観察します。検査対象者の目の動きを確認するために、検査対象者の目の動きを観察します。

**検査結果の解釈**

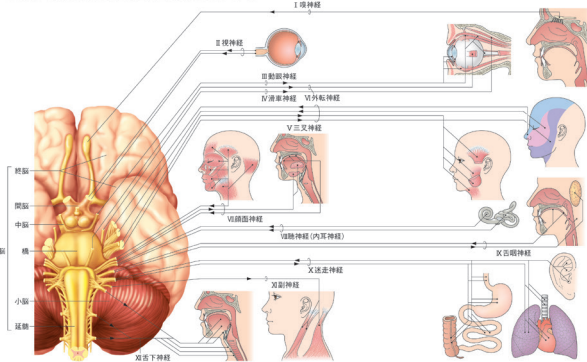
検査結果の解釈は、検査対象者の目の動きを確認するために、検査対象者の目の動きを観察します。検査対象者の目の動きを確認するために、検査対象者の目の動きを観察します。

**検査結果の報告**

検査結果の報告は、検査対象者の目の動きを確認するために、検査対象者の目の動きを観察します。検査対象者の目の動きを確認するために、検査対象者の目の動きを観察します。

#### コラム 脳神経 名前・役目・発出地点

ごく簡単に、脳神経の名前と役目(担当)、発出地点をまとめましょう。



- 第1(Ⅰ)脳神経は嗅神経：嗅覚を担当。嗅球が発出地点。
- 第2(Ⅱ)脳神経は視神経：視覚を担当。網膜が発出地点です。この2つは神経名がそのまま担当臓器です。すぐに頭に記入します。
- 第3(Ⅲ)脳神経は動眼神経：眼球の動きの大部分と瞳孔を制御する働きで、中脳発出。
- 第4(Ⅳ)脳神経は滑車神経：眼球を斜下(下)に下に動かす担当で、中脳発出です。
- 第5(Ⅴ)脳神経は三叉神経：顔面の感覚を広く担当する。視神経が担当します。「舌ひわり」は味覚とは別区分で、三叉神経が担当します。第5(Ⅴ)脳神経は顔面神経：まぶたの閉じをはじめとする顔面の運動と、唾液腺(舌下腺・顎下腺)分泌担当。舌の前2/3の感覚担当でもある。視神経の神経です。第6(Ⅵ)脳神経は眼運動神経：内筋神経(眼窩内の眼球と眼球と眼球を動かす)に分類されます。内筋神経の発出地点は様々です。
- 第7(Ⅶ)脳神経は顔面神経：まぶたの閉じをはじめとする顔面の運動と、唾液腺(舌下腺・顎下腺)分泌担当。舌の前2/3の感覚担当でもある。視神経の神経です。第8(Ⅷ)脳神経は聴神経(内耳神経)：内耳神経(眼窩内の眼球と眼球と眼球を動かす)に分類されます。内筋神経の発出地点は様々です。
- 第9(Ⅸ)脳神経は舌咽神経：舌の後ろ1/3の感覚と唾液腺(舌下腺)分泌担当で、延髄が起発地点です。第10(Ⅹ)脳神経は迷走神経：消化器のほとんどすべての運動を担当する自律神経系(副交感神経系)の主要で、延髄発出。
- 第11(Ⅺ)脳神経は副神経：首周りの筋群の担当で、延髄発出です。
- 第12(Ⅻ)脳神経は舌下神経：舌の運動担当で、延髄から発出しています。

以上が脳神経12本。  
 目に関係するのは視神経(Ⅱ)、動眼神経(Ⅲ)、滑車神経(Ⅳ)、外転神経(Ⅵ)。舌に関係するのは舌咽神経(Ⅸ)、迷走神経(Ⅹ)、舌下神経(Ⅻ)。舌の担当する視覚の重要性はさきまでもありません。舌は味覚(甘味、酸味、塩味、苦味、うまみ)を担当するだけでなく、嚥下のきっかけとして重要な存在であることを思い出してください。



「臨地実習」の学びを  
 「看護師国家試験」の知識につなげよう！

